

平成 27 年 3 月 23 日

報道関係各位

京成電鉄株式会社

EB 装置のブザー鳴動開始までの時間が延びる事象の対策完了について

京成電鉄（本社：千葉県市川市、社長：三枝 紀生）では、一部車両において特定の条件下で EB（Emergency Brake：エマージェンシー ブレーキ）装置のブザー鳴動開始時間が延びる事象が発生することが判明したため、改修を実施していましたが、このたび対象車両すべての対応が完了いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

EB 装置とは列車走行中に、運転士が力行操作、ブレーキ操作などの操作を一定時間扱わなかった場合にブザーが鳴動し、さらに 5 秒間、いずれの操作も行わなければ、運転士が疾病等により運転操作を継続できなくなったと判断し、自動的に非常ブレーキを動作させる装置のことです。

記

1. 発生していた事象

運転士が力行等の同じ操作を継続中、ATS 等によるブレーキが動作した場合などに EB 装置が運転士の操作によるブレーキと認識し、タイマーがリセットされ、EB 装置のブザーが鳴動するまでの時間が、その時点から 60 秒になる事象が発生しておりました。

2. 対象車両数

38 両（いずれも運転台付き車両）

※運転台付き車両の総数は 180 両（平成 27 年 3 月 23 日現在）

3. 対応策

廃止車両 4 両を除き、ATS 等により自動的にブレーキが動作した場合でも、タイマーがリセットされないよう改修いたしました。

以上